



COMMON GROUND LIVING LAB

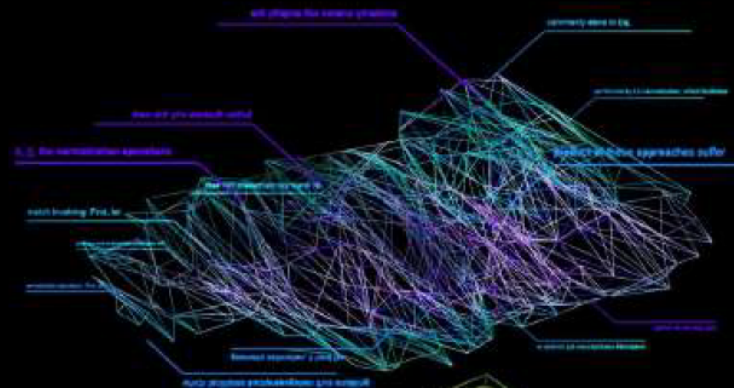
コモングラウンドの概要

次世代都市の 空間情報プラットフォーム 「コモングラウンド」

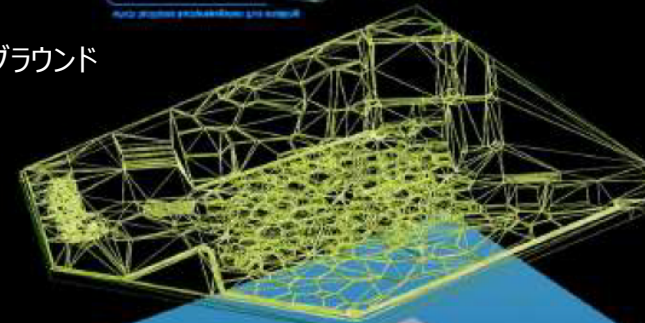
- フィジカルな空間に存在する様々なものをデジタル情報として扱う。
- 様々なロボットが人間と同じように世界を見ることができる。
- 人とロボットが共に暮らす未来を実現できる。

なお、「コモングラウンド」という言葉は、福知山公立大学西田豊明教授が「会話情報学」の中で、コミュニケーションの成立基盤を考えるために用いた概念で、「モノ（フィジカル）と情報（デジタル）が重なる“共有基盤”」と再定義した。

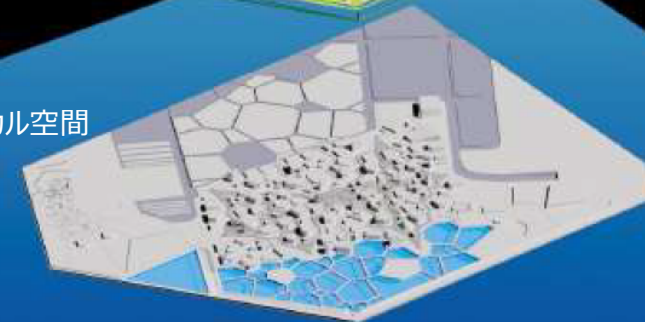
デジタル空間



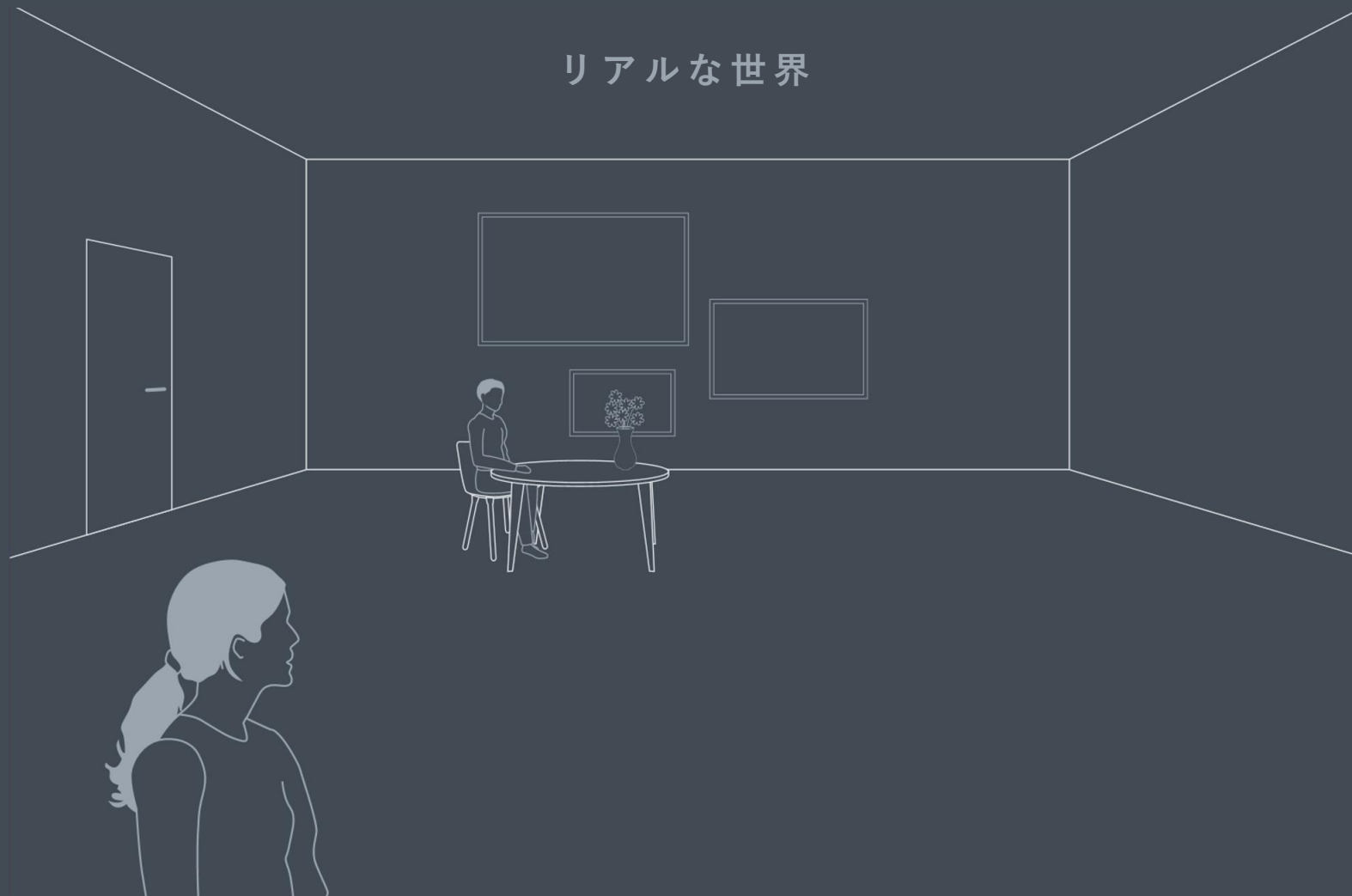
コモングラウンド



フィジカル空間

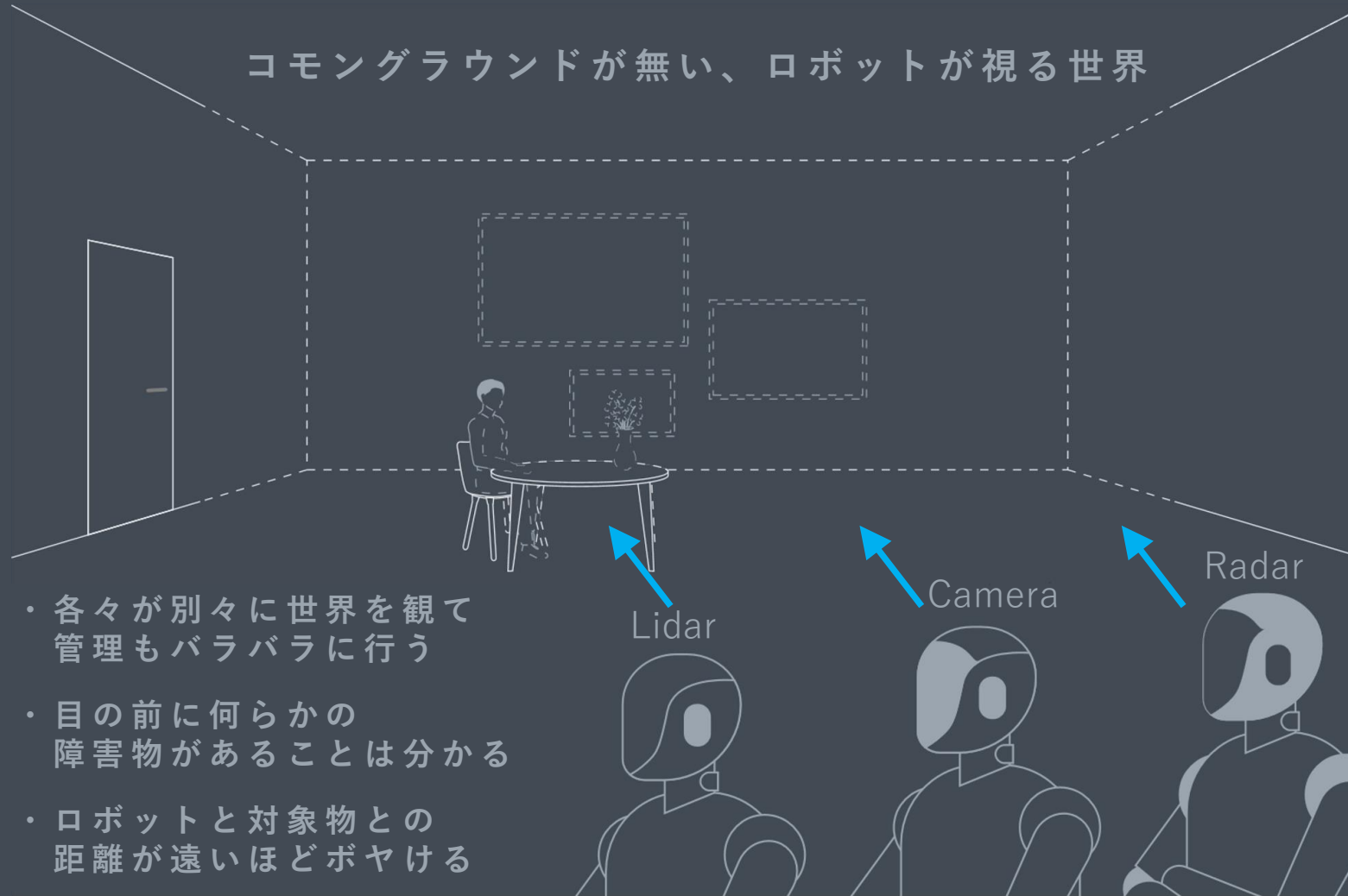


人が見る世界と、ロボットが見る世界の図解

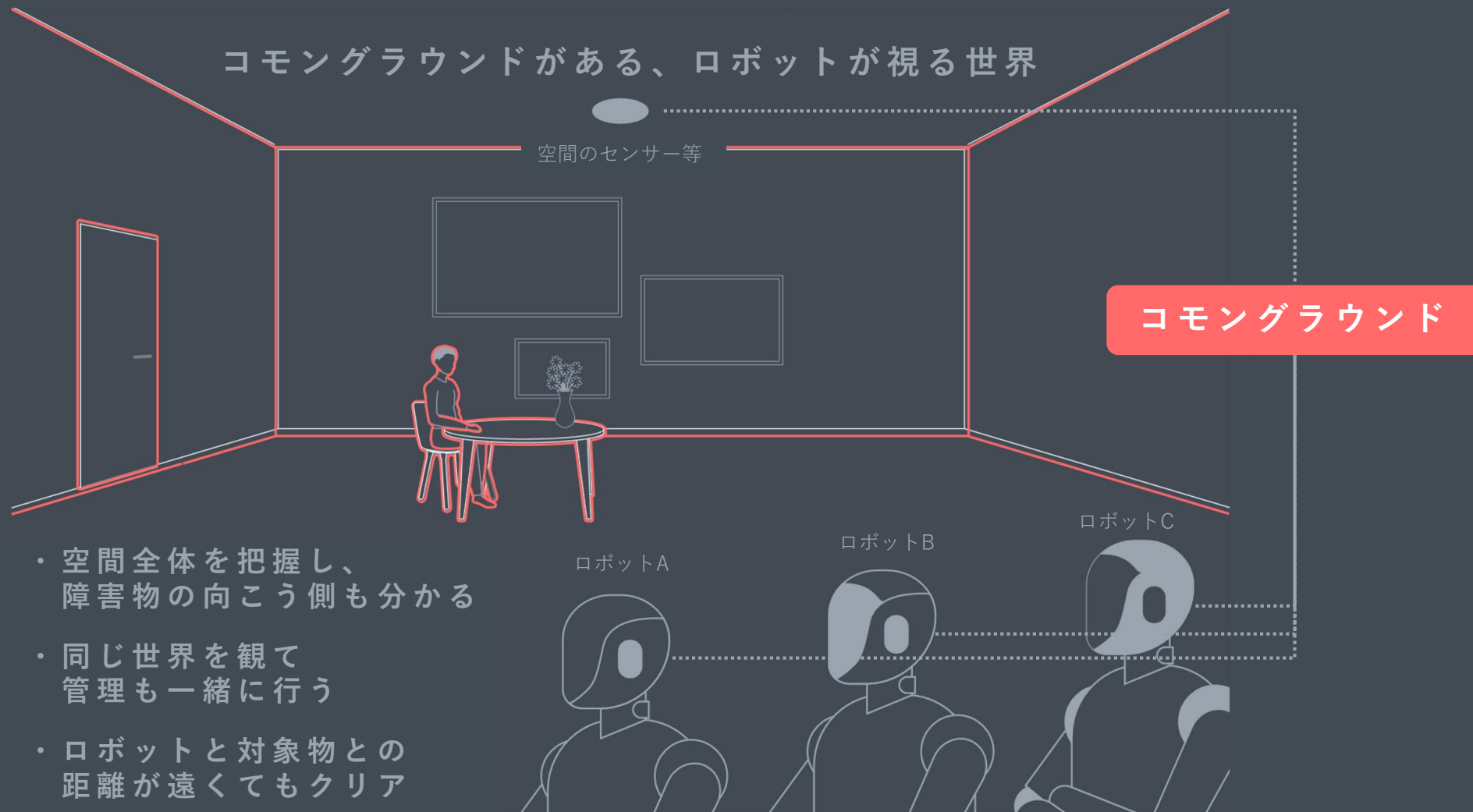


障害物の向こう側や遠い場所は把握できない。

コモングラウンドが無い、ロボットが視る世界



コモングラウンドがリアルタイムの空間情報を共有



様々な価値観に合ったスマートシティ向けの サービスやアプリケーション開発、豊かな都市生活の実現に貢献

ナビゲーション

自律型モビリティが最適に、
複数モビリティが走行する場合も
安全に行きかう



シミュレーション

アイデアが共有されることで、
誰でも新たなサービスやイベントを
検討できる



時間の拡張

様々な時間の場の様子が
リアルに再現でき、その時、その場所
にいたかのような感覚で楽しめる



空間の拡張

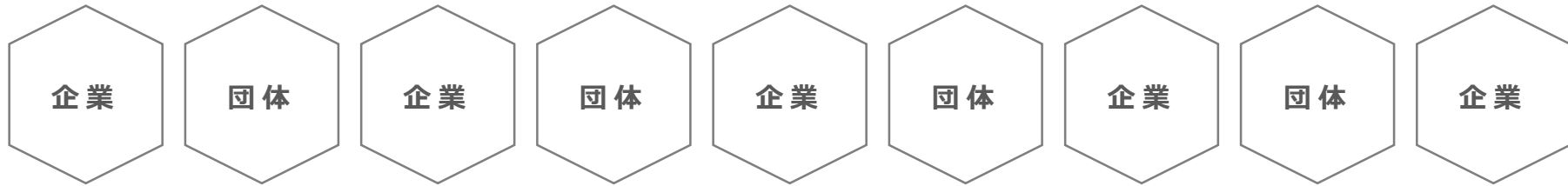
遠方の人でも、あたかもその場に
いるような感覚を、ロボット等を
介して楽しめる。

世界のスマートシティ開発が加速 国家機関や、一大企業が先導する取り組み



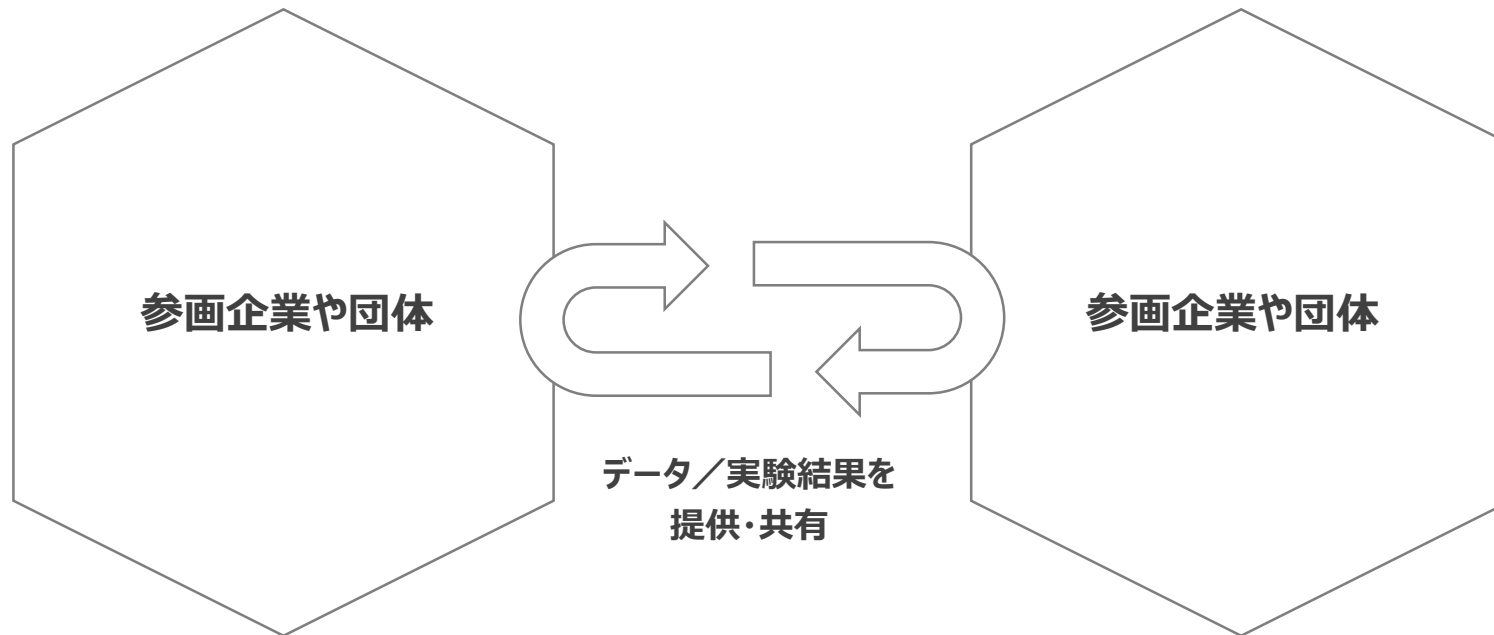
コモングラウンド・リビングラボの取り組みでは、 複数の企業や団体が「フラット」に議論、実験し、都市実装を採る

<フラットに知を共有し合える組織>



都市実装

参画企業・団体がデータ／実験結果を互いに提供・共有 実証を進め、技術・運営ノウハウを先行して集積



2025年大阪・関西万博が枠組みを超える力に

- ・日本の企業や団体が互いの枠組みを越え、協力し合うことが重要
- ・2025年大阪・関西万博は、共通の目標になる
- ・今はまさに絶好のタイミング

< コモングラウンド・リビングラボ 想定参画企業・団体 >

プラットフォーム／サービサー／メーカー

< 参画メリット >

コモングラウンドの仕様開発

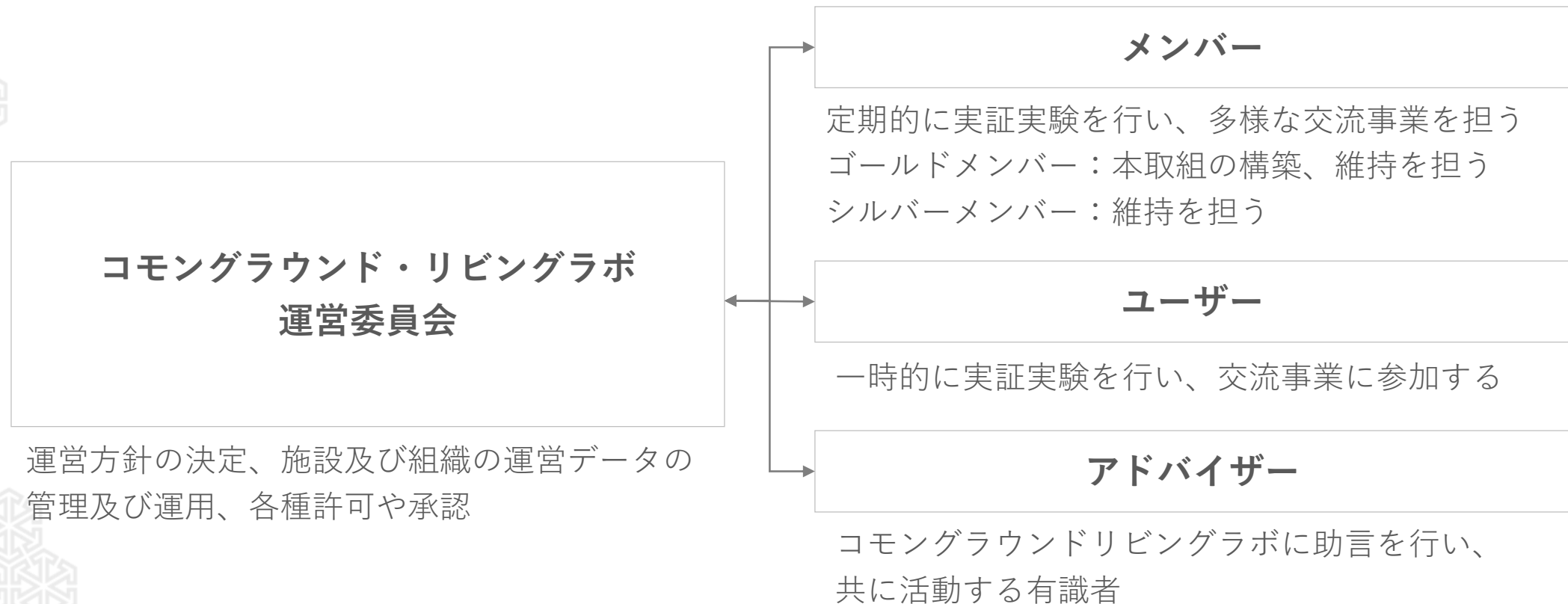
共創する仲間の獲得

仲間と共にノウハウを蓄積&更新

自社にとっての新たなチャレンジ

共有設備の活用

ラボの運営体制



コモングラウンド・リビングラボ 運営委員会

< 運営委員会 > 6社



株式会社竹中工務店



中西金属工業株式会社



株式会社日立製作所



株式会社gluon

大阪商工会議所

大阪商工会議所



株式会社三菱総合研究所

ラボのメンバー ※本日時点の参画企業

< ゴールドメンバー > 6社



大阪ガス株式会社

KOKUYO

コクヨ株式会社



シリコンスタジオ株式会社



大和ハウス工業株式会社



大日本印刷株式会社



西日本電信電話株式会社

< シルバーメンバー > 9社 ※社名非掲載の企業1社を含む



NTTコミュニケーションズ株式会社



株式会社NTTドコモ



クモノスコーポレーション株式会社



株式会社大広



ダイナミックマップ基盤株式会社



TOA株式会社



パナソニック株式会社



三菱パワー株式会社

アドバイザー

- | | |
|---|----------|
| ■ 大阪市立大学大学院 工学研究科 教授 | 阿多 信吾 氏 |
| ■ 東京大学大学院 情報理工学系研究科 システム情報学専攻 教授 | 稲見 昌彦 氏 |
| ■ 東京大学大学院 情報学環 教授 | 越塚 登 氏 |
| ■ 大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員 | 佐久間 洋司 氏 |
| ■ 大阪大学サイバーメディアセンター 教授・センター長 | 下條 真司 氏 |
| ■ 福知山公立大学 情報学部 学部長・教授 | 西田 豊明 氏 |
| ■ 摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 教授 | 樋口 祥明 氏 |
| ■ 東京大学大学院 情報学環 教授
ソニーコンピュータサイエンス研究所副所長 | 暦本 純一 氏 |